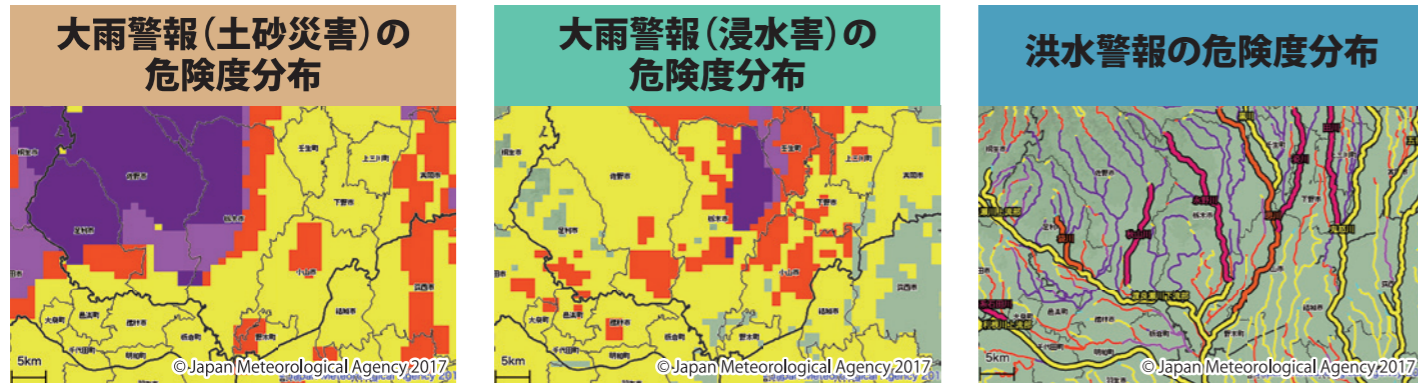


キキクル（危険度分布）

キキクル（危険度分布）は、警報が発表されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。気象庁ホームページでは、土砂災害・浸水害・洪水災害それぞれの危険度分布を随時見ることができます。

P96



どこで大雨による土砂災害発生の危険度が高まっているかを表示しています。

短時間強雨による浸水害発生の危険度を分布として表示しています。

個々の中小河川において雨量予測に基づき予測される洪水災害発生の危険度の高まりを表示しています。

警戒レベルを用いた防災情報

水害や土砂災害の危険性が予想される場合に市民の皆さまが災害発生の危険度を直感的に理解し、状況にあわせた的確な避難行動がとれるように、避難情報や防災気象情報等の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。市民の皆さまが避難行動をとる際の目安としてください。

警戒レベル		とるべき行動	栃木市の情報	警戒レベルに相当する気象庁などの情報		
警戒レベル	とるべき行動	栃木市の情報	警報など	指定河川洪水予報	キキクル(危険度分布)	
5	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動などする。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨特別警報	氾濫発生情報	災害切迫	
警戒レベル4までに必ず避難!						
4	<b>危険な場所から全員避難</b> 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	危険	
3	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	警戒	
2	<b>自らの避難行動を確認</b> 防災ハザードマップなどにより、自宅などの災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。		大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報	注意	
1	<b>災害への心構えを高める</b>		早期注意情報(警報級の可能性)			

渡良瀬遊水地の治水機能 (出典: 利根川上流河川事務所)

渡良瀬遊水地は、増水した川の水を一時的に貯めることで洪水被害を防ぎ、地域と首都圏の安全な暮らしを守る重要な役割を担っています。

